

ましては、1目学校管理費の271ページになりますが、備考欄の右上にございます021小学校施設環境改善事業におきまして西根及び豊田小学校校舎の大規模改修が平成26年度に終了したことなどにより、3億1,571万5,320円の減となっております。

272ページをお開き願います。3項中学校費は支出済額1億2,610万9,526円となりましたが、学校施設管理における燃料費や各種修繕工事の減などにより前年度対比4.6%の減となりました。

276ページをお開き願います。4項社会教育費は支出済額3億8,096万1,564円で、前年度対比4%の増となりました。282ページになりますが、5目芸術文化費での、285ページになりますが、備考欄一番下に記載の015「長井市の文化的景観」調査事業や、287ページになりますが、備考欄の021市史編さん事業がそれぞれ増額となっております。

少し飛びますが、292ページをお開きください。5項の保健体育費は支出済額2億2,630万1,370円となりましたが、特に294ページの2目体育施設費におきまして、武道館改修工事や生涯学習プラザ運動公園陸上競技場に係る備品購入が平成26年度に終了したことなどにより、前年度対比13.5%の減となっております。

次に、300ページをお開き願います。11款災害復旧費は支出済額1億1,594万8,521円で、前年度対比55.4%の減、歳出総額に占める構成比率は0.9%となっております。1項農林水産業施設災害復旧費は支出済額6,844万471円で、前年度対比22.9%の減となり、302ページになりますが、2項の公共土木施設災害復旧費は支出済額4,750万8,050円で、機械借上料や市道大石線道路災害復旧工事費の減などにより、前年度対比72.3%の減となりました。

次に、12款公債費は支出済額10億1,522万162円で、前年度対比3.5%の増、歳出総額に占め

る構成比率は7.6%となっております。

304ページをお開きください。13款予備費は、議決予算額2,000万円のうち、1,382万5,651円を各款の緊急を要する修繕料などに充用いたしております。

以上で歳出合計は133億7,134万7,830円となり、前年度対比で3.7%、5億1,993万6,734円の減となりました。

続きまして、実質収支に関する調書についてご説明いたしますので、423ページをお開き願います。平成27年度長井市一般会計分でございますが、1の歳入総額は138億7,571万8,538円、2の歳出総額は133億7,134万7,830円、この結果、3の歳入歳出差し引き額は5億437万708円であります。また、5の実質収支額は、4の翌年度へ繰り越すべき財源1,315万3,271円を差し引きしました4億9,121万7,437円となりました。

以上が平成27年度一般会計歳入歳出決算の概要でございます。ご審査の上、ご認定賜りますようよろしくお願い申し上げます。

- 五十嵐智洋委員長 次に、認第1号の平成27年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算及び平成27年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の2件について、鈴木広弥市民課長。
- 鈴木広弥市民課長 平成27年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要を説明いたします。

事項別明細書により説明いたしますので、歳入歳出決算書の308ページをお開きください。

まず歳入。1款国民健康保険税は、調定額7億1,336万9,545円に対し、収入済額は前年度対比7.9%減の5億8,399万160円となっております。調定額のうち3,086万7,503円を不納欠損処分し、収入未済額は9,851万1,882円となっております。

310ページをお開きください。2款一部負担金は、前年度同様、収入がありませんでした。

3款使用料及び手数料の収入済額は、1項2目の督促手数料で前年度対比7.4%減の44万

3,587円となっています。

4 款国庫支出金の収入済額は、前年度対比4.1%増の6億4,578万5,272円となっています。そのうち、1 項1 目の療養給付費等負担金が4億4,199万7,264円、1 項2 目の高額医療費共同事業負担金が1,241万8,008円、312ページをお開きください。3 目の特定健康診査等負担金が348万3,000円です。2 項国庫補助金は、1 目の財政調整交付金1億8,787万3,000円などで、前年度対比19.7%増の1億8,788万7,000円となっています。

5 款療養給付費交付金の収入済額は、前年度対比49.2%減の1億2,380万5,006円で、1 目の療養給付費交付金が8,309万5,574円、2 目の退職被保険者に係る交付金が4,070万9,432円となっています。

6 款前期高齢者交付金の収入済額は、前年度対比7.7%増の5億7,233万7,745円となっています。

314ページをお開きください。7 款県支出金の収入済額は、前年度とほぼ同額の1億3,910万8,008円、1 項県負担金は、1 目の高額医療費共同事業負担金が1,241万8,008円、2 目の特定健康診査等負担金が347万5,000円で、1 項全体では前年度対比8.0%増の1,589万3,008円、2 項県補助金は、前年度対比1%減の1億2,321万5,000円となっています。

8 款共同事業交付金の収入済額は、前年度対比123.9%増の6億5,268万4,506円となっています。大きくふえたのは、保険財政共同安定化事業が拡大されたためで、前年度まで1件30万円以上80万円以下のレセプトが対象でしたが、1件30万円以下のレセプトも対象となり、その結果、2 目の保険財政共同安定化事業交付金が5億8,876万1,945円となっています。

9 款財産収入の収入済額は、前年度対比0.3%増の30万821円となっています。

10 款繰入金の収入済額は、前年度対比21%増

の1億8,022万8,888円となっています。316ページをお開きください。1 項1 目1 節の一般会計繰入金は収入済額が4,263万6,565円、その内訳は、出産育児一時金が560万円、財政安定化支援事業分が2,197万7,500円、事務費分が720万485円、国庫補助減額分が785万8,580円です。2 節の保険基盤安定繰入金は、収入済額が1億3,759万2,323円となっています。2 項基金繰入金は、給付基金からの繰り入れを行わなかったため、収入がありませんでした。

11 款繰越金の収入済額は、前年度対比18%増の1億2,342万9,737円、1 目の療養給付費交付金繰越金が679万6,994円、2 目のその他繰越金が1億1,663万2,743円となっています。

12 款諸収入の収入済額は、前年度対比13.5%減の1,074万6,264円となっています。

318ページをお開きください。以上によりまして、歳入合計では調定額31億6,310万9,475円に対し、収入済額は前年度対比11.2%増の30億3,285万9,994円で、収入率は95.9%、調定額のうち3,086万7,503円を不納欠損処分し、収入未済額は9,938万1,978円となっています。

次に歳出、320ページをお開きください。

1 款総務費の支出済額は、前年度対比2.3%減の1,808万1,594円で、予算現額から支出済額を差し引いた不用額は519万1,406円となっています。1 項総務管理費の支出済額は、前年度対比12.6%減の1,469万609円、うち1 目一般管理費が1,260万7,409円、2 目連合会負担金が208万3,200円となっています。2 項徴税費は120.2%増の309万8,067円、3 項運営協議会費は20.7%増の16万7,746円です。322ページをお開きください。4 項趣旨普及費はパンフレットなどの印刷製本費で、14.1%減の12万5,172円となっています。

2 款保険給付費の支出済額は、前年度対比0.7%減の17億4,312万3,713円、不用額は1億2,219万6,287円となっています。1 項療養諸費

は、1目の一般被保険者療養給付費が13億9,721万5,229円、2目の退職被保険者等療養給付費が1億1,771万6,059円となり、3目、4目、5目を合わせた1項全体では0.5%減の15億3,457万742円となっております。2項高額療養費は前年度対比0.5%増の1億9,808万1,801円となっております。324ページをお開きください。3項移送費は支出が1件ありまして、支出済額が7万1,170円となっております。4項出産育児諸費は20件、35%減の840万円、5項葬祭諸費は40件あり、9.1%減の200万円となっております。

326ページをお開きください。3款後期高齢者支援金等の支出済額は、前年度対比0.1%増の3億4,114万4,331円となっております。後期高齢者医療制度に係る費用のうち、おおむね4割を負担するものとなっております。

4款前期高齢者支援金等の支出済額は、前年度対比12.6%減の22万9,975円となっております。65歳以上75歳未満の加入者に係る保険給付費に関し、各保険者間の前期高齢者の偏在による負担の不均衡を調整するために負担するものがございます。

5款老人保健拠出金の支出済額は、前年度と同額の1万4,656円。

6款介護納付金の支出済額は、前年度対比9%減の1億4,266万5,106円。

328ページをお開きください。7款共同事業拠出金の支出済額は、前年度対比136%増の6億5,017万6,852円となっております。大きくふえたのは、歳入で説明したとおり、保険財政共同安定化事業が拡大されたため、2目の保険財政共同安定化事業拠出金が6億53万4,543円となっております。

8款保健事業費の支出済額は、前年度対比0.2%増の2,425万8,479円、1項特定健康診査等事業費は、40歳以上75歳未満の国民健康保険被保険者に係る特定健康診査等の事業費を一般

会計に繰り出すもので1,175万3,581円、2項保健事業費は、健康診断や医療費通知などの事業費で1,250万4,898円となっております。

330ページをお開きください。9款基金積立金の支出はありませんでした。

10款諸支出金の支出済額は、前年度対比19.1%減の2,675万4,335円となっております。

332ページをお開きください。11款予備費からの支出はありませんでした。

以上により、歳出合計では予算現額30億8,374万2,000円に対し、支出済額は前年度対比13.2%増の29億4,644万9,041円で、予算執行率は95.5%、不用額は1億3,729万2,959円となっております。

歳入合計の収入済額30億3,285万9,994円から歳出合計の支出済額29億4,644万9,041円を差し引いた残額8,641万953円を平成28年度に繰り越して決算を終了しております。

次に、平成27年度長井市後期高齢者医療特別会計の決算について説明しますので、408ページをお開きください。

まず歳入ですが、1款後期高齢者医療保険料は、調定額1億8,227万1,027円に対し、収入済額は前年度対比3.8%減の1億8,120万7,207円で、収納率は99.4%となっております。調定額のうち5万5,100円を不納欠損処分し、収入未済額は107万6,520円となっております。

2款使用料及び手数料の収入済額は、前年度対比0.2%増の5万2,800円。

3款繰入金の収入済額は、前年度対比1.7%増の1億952万2,616円、1目の事務費繰入金が1,882万6,759円、2目の一般会計繰入金が9,069万5,857円となっております。

4款繰越金の収入済額は、前年度対比23.5%増の539万9,239円。

5款諸収入の収入済額は、前年度対比52.4%減の17万9,308円となっております。

410ページをお開きください。以上によりま

して、歳入合計では調定額 2 億9,742万4,990円に対し、収入済額は前年度対比1.5%減の 2 億9,636万1,170円で、収入率は99.6%、調定額のうち 5 万5,100円を不納欠損処分し、収入未済額は107万6,520円となっております。

次に歳出、412ページをお開きください。

1 款総務費の支出済額は、前年度対比17.3%減の495万2,452円で、不用額は41万9,548円となっております。1 項総務管理費は後期高齢者医療制度の事務処理に要する経費で43万799円、2 項徴収費は保険料の賦課徴収に要する経費で、452万1,653円となっております。

2 款後期高齢者医療広域連合納付金の支出済額は、保険料等負担金が 1 億8,215万7,943円、保険基盤安定制度分が9,069万5,857円、事務費負担金が1,394万1,215円で、合計では前年度対比0.9%減の 2 億8,679万5,015円となっております。

3 款諸支出金の支出済額は、前年度対比86.5%減の9,100円となっております。

414ページをお開きください。以上により、歳出合計では、予算現額 3 億 5 万1,000円に対して、支出済額は前年度対比1.3%減の 2 億9,175万6,567円で、予算執行率は97.2%、不用額は829万4,433円となっております。

歳入合計の収入済額 2 億9,636万1,170円から歳出合計の支出済額 2 億9,175万6,567円を差し引いた残額460万4,603円を平成28年度に繰り越して決算を終了しております。

以上でございます。よろしくご審査の上、ご承認賜りますようお願いいたします。

○五十嵐智洋委員長 次に、認第1号の平成27年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算及び平成27年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算並びに平成27年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の3件について、種村正一上下水道課長。

○種村正一上下水道課長 平成27年度長井市公共

下水道事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の26ページをお開きください。歳入でございますが、収入済額合計は11億814万1,866円で、前年度と比較し、8,227万5,129円、6.9%の減でございます。歳入の主な項目といたしましては、負担金、使用料及び手数料、国庫補助金、一般会計繰入金、市債などがございます。

28ページをお開き願います。歳出につきましては、支出済額合計は11億755万8,292円で、前年度と比較し8,226万187円、6.9%の減でございます。歳出の項目といたしましては、公共下水道事業費、公債費でございます。

30ページになりますが、済みません、ページ数合っておりますけども、30ページ、ちょっとごらんいただきたいんですが、歳入歳出差し引き残額は58万3,574円となり、翌年度に繰り越しさせていただくものです。

それでは、事項別明細書によりご説明申し上げます。336ページをお開き願います。

歳入からご説明申し上げます。1 款分担金及び負担金、1 項1 目下水道受益者負担金につきましては、収入済額887万2,370円で、歳入総額の0.8%となっております。うち、現年度分は825万8,810円で、収納率は前年度対比2.3ポイント減の94.5%、滞納繰越分は61万3,560円で、収納率は前年度対比6.8ポイント減の10.6%となっております。

2 款使用料及び手数料、1 項1 目下水道使用料につきましては、収入済額 3 億1,252万4,570円で、歳入総額の28.2%となっており、うち現年度分は 3 億657万5,808円で、収納率は前年度対比0.7ポイント増の99.1%、滞納繰越分は594万8,762円で、収納率は前年度対比18.3ポイント増の53.1%となっております。また、不納欠損額は 9 件で10万4,094円が生じており、これは転出後行方不明などにより時効となったもの

など収入不可能と判断し、不納欠損処分させていただきました。2目下水道使用料につきましては、収入済額14万5,370円。

3款国庫支出金、1項1目下水道事業費国庫補助金につきましては、収入済額1,148万6,000円で、内訳は社会資本整備総合交付金298万6,000円、防災・安全社会資本整備交付金850万円で、収入総額の1%でございます。

4款繰入金、1項1目一般会計繰入金につきましては、収入済額6億9,970万円で、歳入総額の63.1%でございます。

338ページをお開き願います。5款繰越金、1項1目繰越金につきましては、収入済額59万8,516円。

6款諸収入、1項1目延滞金につきましては受益者負担金の延滞金で、収入済額は20万1,700円でございます。

7款市債、1項1目下水道事業債につきましては、収入済額7,460万円で、歳入総額の6.7%となっております。

340ページをお開き願います。歳出についてご説明申し上げます。

1款公共下水道事業費、1項公共下水道事業費につきましては、支出済額は2億866万5,628円で、前年度対比1,134万8,663円減で、予算額に対する執行率は93.6%となっております。うち1目公共下水道総務費につきましては5,448万8,838円で、主なものとして、下水道使用料徴収等事務委託料900万円、電算システム共同アウトソーシング委託料222万2,000円、消費税納付額の公課費2,566万7,200円のほか、置広共同処理事務分担金や排水設備等設置改造資金利子補給金、その他関係諸団体の負担金などでございます。

2目公共下水道事業費につきましては、支出済額5,677万8,610円で、主なものとして、342ページをお開き願います。公共下水道管理センター施設更新実施設計業務委託料

1,700万円、長井市生活排水処理施設整備基本構想策定業務委託料597万2,400円、野呂川樋門補修工事費1,551万960円などがございます。

3目管渠管理費につきましては支出済額1,461万6,566円で、主なものとして下水道取付管補修工事、マンホール等補修工事、汚水管路布設工事などの工事請負費でございます。本年度の汚水管路布設工事につきましては、中道地内の一部で実施し、平成27年度末の公共下水道の整備率は、前年度対比0.3ポイントアップし94.5%となっております。

4目管理センター費につきましては支出済額8,278万1,614円で、主なものとして、薬品などの消耗品費417万7,876円、処理施設の光熱水費1,434万6,159円、管理センター運転・保守点検業務委託料3,539万7,000円、344ページをお開き願います。脱水ケーキ処分委託料2,207万5,974円、雨水バイパス管設置工事費などでございます。

2款1項公債費につきましては支出済額8億9,889万2,664円で、うち1目元金は、長期債償還元金の7億4,504万2,818円、2目利子は、長期債利子の1億5,384万9,846円でございます。

以上が平成27年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。

続きまして、平成27年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明いたします。

38ページをお開き願います。歳入でございますが、収入済額合計は1億5,562万9,906円で、前年度に比べ409万3,345円、2.7%の増となっております。歳入の主な項目として、分担金及び負担金、使用料及び手数料、一般会計繰入金などでございます。

40ページをお開き願います。歳出でございますが、支出済額合計は1億5,510万6,442円で、前年度に比べ409万9,736円、2.7%の増でございます。予算現額に対する執行率は96.2%とな

っております。歳出の項目といたしましては、農業集落排水事業費及び公債費でございます。

42ページをお開き願います。歳入歳出差し引き残額は52万3,464円となり、翌年度に繰り越しをいたすものでございます。

それでは、事項別明細書によりご説明申し上げますので、354ページをお開き願います。

歳入でございますが、1款分担金及び負担金、1項1目農業集落排水事業分担金につきましては、収入済額33万円で、今泉地区、大久保地区それぞれ1件の加入がございました。

2款使用料及び手数料、1項1目施設使用料につきましては、収入済額5,326万8,851円、うち1節の現年度分は5,261万6,699円で、収納率は前年度対比0.1ポイント増の99%となっております。2節滞納繰越分は65万2,152円で、収納率は対前年度比13.1ポイント増の54.8%となっております。また、不納欠損は1件で9,185円生じております。これは、居所不明により収入不能となり、時効となったことから不納欠損処分させていただいたものでございます。

3款繰入金、1項1目一般会計繰入金につきましては、収入済額1億150万円、前年度対比2.6%の増で、歳入総額の65.2%となっております。

4款繰越金につきましては、収入済額52万9,855円で、前年度繰越金でございます。

5款諸収入につきましては、収入がございませんでした。

358ページをお開き願います。歳出につきましてご説明申し上げます。

1款農業集落排水事業費、1項1目農業集落排水事業総務費につきましては、支出済額1,443万273円で、主なものといたしまして職員人件費のほか、使用料徴収等事務委託料120万円、消費税納付額の公課費439万5,300円などがございます。

2目今泉排水施設運営費につきましては支出

済額1,756万8,815円で、主なものといたしまして処理施設の光熱水費372万2,545円、基本運転点検業務委託料1,104万2,248円、日常点検業務委託料95万707円、取付管補修工事41万400円などがございます。

360ページをお開き願います。3目大久保排水施設運営費につきましては、支出済額1,567万7,347円で、主なものといたしましては、処理施設の光熱水費204万9,416円、修繕料205万4,700円、基本運転点検業務委託料458万2,648円、日常運転点検業務委託料69万1,894円のほか、平野学童クラブ整備に伴う汚水管路布設工事費278万7,480円、汚水管路布設工事に伴う水道配水管の布設替え工事に対する補償費155万7,360円などがございます。

2款公債費、1項1目元金につきましては8,329万7,664円で、長期債償還元金でございます。2目利子につきましては2,413万2,343円で、長期債利子でございます。

以上が平成27年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。

続きまして、平成27年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

56ページをお開き願います。歳入でございますが、収入済額合計は1億1,832万2,183円で、前年度と比較し330万5,958円、2.9%の増でございます。歳入の主な項目といたしましては、分担金及び負担金、使用料及び手数料、国庫補助金、一般会計繰入金、市債などがございます。

58ページをお開きください。歳出でございますが、支出済額合計は1億1,781万329円で、前年度と比較し329万5,096円、2.9%の増でございます。歳出の項目といたしましては、浄化槽事業費及び公債費でございます。

60ページお開きください。歳入歳出差し引き残額は51万1,854円となり、翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

それでは、事項別明細書によりご説明申し上げますので、398ページをお開き願います。

歳入でございますが、1款分担金及び負担金、1項1目浄化槽事業分担金につきましては、収入済額878万円、53件分の浄化槽事業分担金で、収納率は100%でございます。

2款使用料及び手数料、1項1目浄化槽使用料につきましては、収入済額3,475万2,227円で、現年度分は収入済額3,470万6,227円、収納率は前年度と同率の99.8%、滞納繰越分は収入済額3万9,600円で、収納率は80%でございます。

3款国庫支出金、1項1目特定地域生活排水処理事業国庫補助金につきましては、合併浄化槽設置に対する国庫補助率が前年度の2分の1から3分の1に変更になったことに伴い、収入済額は前年度対比882万5,000円減の1,674万9,000円で、歳入総額の14.2%となっております。

4款県支出金、1項1目特定地域生活排水処理事業県補助金につきましては、収入済額242万円となっております。

5款繰入金、1項1目一般会計繰入金につきましては収入済額1,683万7,000円で、歳入総額の14.2%となっております。

400ページをお開き願います。6款繰越金は、収入済額50万992円で、7款諸収入、3項1目雑入は、収入済額198万2,964円で、消費税還付金でございます。

8款市債、1項1目下水道事業債につきましては、収入済額3,630万円で、歳入総額の30.7%となっております。

続いて、歳出についてご説明申し上げます。

1款1項浄化槽事業費につきましては、支出済額1億461万4,957円で、前年度対比223万7,863円増で、予算現額に対する執行率は93.2%でございます。うち1目浄化槽事業総務費につきましては支出済額3,633万3,268円で、主なものといたしましては浄化槽点検等の手数

料285万9,320円、浄化槽保守点検清掃委託料2,653万1,280円、長井市浄化槽転換事業費補助金で242万円、放流ポンプ等設置工事費補助金で40万円などがございます。2目浄化槽事業費につきましては支出済額6,828万1,689円で、主なものといたしまして53基分の浄化槽設置工事費5,879万5,200円でございます。

2款公債費、1項1目元金につきましては750万7,797円で、長期債償還金でございます。404ページをお開き願います。2目利子につきましては568万7,575円で、長期債償還利子でございます。

以上、特別会計3会計の決算についてご説明申し上げました。よろしくご審査の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○五十嵐智洋委員長 次に、認第1号の平成27年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算について、松木 満地域づくり推進課長。

○松木 満地域づくり推進課長 それでは、私から平成27年度山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明をいたします。

決算書の32ページをお開きください。歳入でございますが、分担金及び負担金、財産収入、繰入金、繰越金、諸収入等で前年比で0.4%増の1億4,598万8,581円となりました。調定額、収入済額同額でございます。

続いて、34ページの歳出をごらんください。山形鉄道助成費及び基金積立金合計で、支出済額は収入済額と同額で、前年度比0.4%増の1億4,598万8,581円となっております。

続きまして、事項別明細によりご説明をいたしますので、348ページをごらんください。

歳入についてご説明を申し上げます。1款1項1目山形鉄道運営助成費負担金でございます。予算現額は4,398万円で、収入済額も同額でございます。長井市を除く山形県、あとは1市2町の負担金でございまして、前年度と同額でございます。

次に、2款1項1目利子及び配当金は、予算現額10万円に対して、収入済額8万8,581円でございます。基金の利子でございます。

続きまして、3款1項1目一般会計繰入金は、予算現額1,602万円で、収入済額も同額でございます。この内訳は、長井市の運営負担分の1,602万円でございます。金額につきましては前年度と同額でございます。同じく3款の2項1目基金繰入金でございますが、当初予算6,000万円に助成金の補助金不足額として1,690万円を基金から繰り出しまして、予算現額は7,690万円となり、収入済額も同額でございます。

次に、4款1項1目雑入でございますが、予算現額が900万円に対して、収入済額も同額の900万円でございます。これは、前年度の山形鉄道運営助成基金補助金の確定による延納金でございます。

続きまして、350ページをごらんください。歳出でございます。

1款1項1目の運営助成費でございますが、長井市山形鉄道運営助成基金補助金として当初予算6,000万円に1,690万円の補正をいたし、予算現額7,690万円となっておりますが、支出済額も同額でございます。

次に、2款1項1目基金積立金でございますが、当初予算6,008万4,000円に901万6,000円を補正いたしまして、予算現額が6,910万円となっております。支出済額は6,908万8,581円で、基金に積み立てをいたしております。

以上が平成27年度山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご承認を賜りますようお願いいたします。

○五十嵐智洋委員長 次に、認第1号の平成27年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算について、伊藤亮一健康課長。

○伊藤亮一健康課長 平成27年度長井市訪問看護

事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書44ページをお開き願います。初めに歳入でございますが、収入済額合計は、前年度比36万457円、1.5%減の2,352万3,219円ございました。収入の内訳といたしましては、療養費交付金、利用料、一般会計繰入金、繰越金、雑入でございます。

次に、46ページをお開きください。歳出といたしましては、事業費としての支出済額は前年度比36万291円、1.5%減の2,342万2,953円ございました。

48ページになりますが、歳入歳出の差し引き残額10万266円を翌年度に繰り越ささせていただくものでございます。

次に、事項別明細書によりご説明を申し上げます。

決算書364ページをお開き願います。初めに歳入についてご説明申し上げます。歳入でございますが、1款1項療養費交付金、1目訪問看護費交付金は収入済額1,143万361円でございます。前年度に比べ140万7,128円、14.0%の増となりました。内訳といたしましては、介護保険分929万450円、医療保険分が213万8,911円でございます。

2款1項1目利用料は収入済額119万5,852円でございます。内訳は介護保険、医療保険の利用者負担分でございます。こちらは前年度に比べ12万5,798円、11.8%の増でございました。

3款1項1目一般会計繰入金は収入済額1,067万9,000円で、前年度に比べ28万5,000円、2.6%の減でございました。

4款1項1目繰越金は10万432円でございます。

5款諸収入、1項1目雑入は11万7,574円でございます。国保協力金などがございます。

次に、歳出についてご説明を申し上げます。366ページをお開き願います。1款1項事業費、

1 目訪問看護事業費、支出済額2,342万2,953円の内訳は、2 節、3 節、4 節につきましては職員の給料、職員手当、共済費でございます。7 節賃金434万744円は、定時補助職員及びパート看護師の雇い上げ賃金でございます。9 節旅費5,000円は職員の出張旅費でございます。11 節需用費25万5,199円は消耗品費、修繕料、燃料費、医薬材料費でございます。12 節役務費24万9,962円は電話料、クリーニング手数料などでございます。14 節使用料及び賃借料67万6,512円は、訪問看護支援ソフトのリース料及び自動車のリース料となっております。18 節備品購入費1万1,880円は血中酸素飽和度測定器の購入費でございます。19 節負担金補助及び交付金1万2,000円は、訪問看護ステーション連絡協議会の年会費と研修会の負担金でございます。

以上、平成27年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の概要につきましてご説明を申し上げます。よろしくご審査の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。以上でございます。

○五十嵐智洋委員長 次に、認第1号の平成27年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算について、佐藤 隆福祉あんしん課長。

○佐藤 隆福祉あんしん課長 平成27年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

歳入歳出決算書の50ページをお開きください。最初に、款ごとの決算額等について歳入からご説明申し上げます。

1 款介護保険料は、調定額5億9,110万2,315円に対しまして収入済額5億8,310万5,909円で、収入済額総額に占める割合、構成比は19.7%、収納率は98.6%となっております。調定額のうち204万6,394円を不納欠損処分し、収入未済額は601万3,812円となっております。予算現額と収入済額との比較では、684万3,909円の増となりました。

2 款使用料及び手数料は収入済額10万8,433円で、予算現額に対し3万8,433円の増となりました。

3 款国庫支出金は収入済額7億3,084万6,601円で、予算現額に対し1,356万5,399円の減となり、構成比は24.7%となりました。

4 款支払基金交付金は収入済額7億8,727万3,795円で、予算現額に対し1,438万205円の減となり、構成比は26.6%となりました。

5 款県支出金は収入済額4億1,998万7,031円で、予算現額に対し295万5,969円の減となり、構成比は14.2%となりました。

6 款財産収入は収入済額15万5,122円で、予算現額に対し1万7,878円の減となりました。

7 款繰入金は収入済額3億8,960万4,154円で、予算現額に対し1,669万5,846円の減となり、構成比は13.1%となりました。

8 款繰越金は収入済額4,583万4,515円で、予算現額に対し915円の増となり、構成比は1.5%となりました。

9 款諸収入は収入済額759万6,040円で、予算現額に対し13万8,040円の増となりました。

収入合計は、調定額29億7,250万8,006円に対し、収入済額は前年度対比3.8%増の29億6,451万1,600円で収入率は99.7%、予算現額に対し4,059万4,000円の減となりました。

次に、52ページをお開きください。歳出についてご説明申し上げます。

1 款総務費の支出済額は3,455万4,270円で、支出済額総額に占める割合、構成比は1.2%で、不用額は205万3,330円となりました。

2 款保険給付費の支出済額は27億185万4,120円で、不用額7,329万8,880円、構成比は93.0%となりました。

3 款地域支援事業費の支出済額は1億6,036万9,572円で、不用額1,446万9,428円、構成比は5.5%となりました。

4 款基金積立金の支払い額は15万5,122円で、

不用額は1万7,878円、構成比は0.01%となりました。

5款諸支出金の支出済額は809万4,957円で、不用額は23万8,043円、構成比は0.3%となりました。

6款予備費からの支出はありませんでした。

歳出合計は、予算現額30億510万5,600円に對しまして、支出済額が前年度対比3.4%増の29億502万8,041円で、不用額は1億7万7,559円、予算執行率は96.7%となりました。

歳入合計の収入済額29億6,451万1,600円から歳出合計の支出済額29億502万8,041円を差し引きました5,948万3,559円を翌年度に繰り越させていただくものでございます。

次に、事項別明細書によりご説明申し上げます。

370ページをお開きください。1款1項介護保険料は、収入済額が前年度対比23.0%増で5億8,310万5,909円となり、第1号被保険者保険料です。

2款1項手数料は、収入済額が前年度対比3.3%増で10万8,433円となり、介護保険料の督促手数料です。

3款1項国庫負担金は収入済額が前年度対比3.1%増で4億9,675万3,782円となり、介護給付費負担金です。2項国庫補助金につきましては、1目調整交付金が2億445万1,000円、2目地域支援事業交付金が2,546万1,819円、372ページをお開きください、3目介護保険事業費補助金は399万5,000円、4目介護保険災害臨時特例補助金が18万5,000円で、2項合計では前年度対比3.1%増で2億3,409万2,819円となりました。

4款1項支払基金交付金につきましては、1目介護給付費交付金が7億5,120万7,000円、2目地域支援事業支援交付金が3,606万6,795円で、1項合計で収入済額が前年度対比1.1%減で7億8,727万3,795円となりました。

5款1項県負担金は収入済額が前年度対比0.9%増で3億9,756万9,388円となり、介護給付費負担金です。2項県補助金は前年度対比75.2%増で2,241万7,643円となり、地域支援事業交付金です。

6款1項財産運用収入は、収入済額が前年度対比27.2%減で15万5,122円となり、基金積立金利子収入です。

374ページをお開きください。7款1項一般会計繰入金は、1目介護給付費繰入金が3億3,773万1,765円で、2目地域支援事業繰入金が1,785万7,852円で、3目その他一般会計繰入金が3,028万1,337円で、4目低所得者保険料軽減繰入金が373万3,200円で、1項合計では、収入済額が前年度対比0.7%増で3億8,960万4,154円となりました。2項基金繰入金はございません。

8款1項繰越金は収入済額が前年度対比27.9%増で4,583万4,515円となりました。

9款1項延滞金加算金及び過料は、収入済額が前年度対比20.7%減で6万9,880円となり、第1号被保険者の保険料延滞金でございます。

376ページをお開きください。2項雑入は収入済額が前年度対比11.3%増で752万6,160円となり、地域支援事業利用者負担金等でございます。

次に、歳出についてご説明を申し上げます。

378ページをお開きください。1款1項総務管理費は、支出済額が前年度対比40.2%増で1,299万6,660円となり、2項徴収費は支出済額が前年度対比7.1%増で103万8,228円となりました。3項介護認定審査会費は、1目介護認定審査会費が357万6,915円で、2目認定調査等費が780万494円で、380ページをお開きください。3目主治医意見書費が892万7,283円で、3項合計支出済額が前年度対比1.4%増で2,030万4,692円となりました。4項趣旨普及費は、支出済額が前年度対比109.0%増で9万590円となりました。5項高齢者福祉推進会議費は、支出

済額が前年度対比69.2%減で12万4,100円となりました。

2款1項介護サービス等諸費は支出済額が前年度対比3.4%増で24億8,654万8,744円となり、要介護認定者を対象とした介護サービス等給付費でございます。382ページをお開きください。2項介護予防サービス等諸費は、支出済額が前年度対比54.5%減で5,295万2,180円となり、要支援認定者を対象とした介護予防サービス等給付費でございます。3項その他諸費は、支出済額が前年度対比4.3%減で269万5,930円となり、審査支払手数料でございます。4項高額介護サービス等費につきましては、支出済額が前年度対比1.3%増で4,444万2,341円となり、利用者負担が著しく高額になった場合の負担を軽減する保険給付でございます。5項高額医療合算介護サービス等費は、支出済額が前年度対比6.8%減で563万3,940円となり、医療及び介護利用者の負担を軽減する措置で一定の上限を超える額を給付するものでございます。384ページをお開きください。6項特別短期入所サービス費は支出はございません。7項特定入所者介護サービス等費は、支出済額が前年度対比9.5%増で1億958万985円となり、施設サービス利用時の居住費、食費負担金等低所得者の軽減分を補填するための給付でございます。

3款1項介護予防・生活支援サービス事業費につきましては、1目サービス事業費が7,340万407円で、386ページをお開きください、2目介護予防ケアマネジメント事業費が1,417万8,709円でございます。1項合計は、支出済額が8,757万9,116円となりました。2項一般介護予防事業費は、1目一般介護予防事業費が3,747万831円でございます。388ページをお開きください。3項包括的支援事業・任意事業費は、1目総合相談事業費が910万4,427円で、2目権利擁護事業費が589万3,801円で、390ページをお開きください、3目包括的・継続的ケア

マネジメント事業費が773万2,435円で、4目任意事業費が701万9,648円で、5目在宅医療介護連携推進事業費が20万円で、6目生活支援体制整備事業費が19万4,700円で、392ページをお開きください、7目認知症総合支援事業費が499万4,914円で、3項合計支出額は3,513万9,925円となりました。4項その他諸費は、1目審査支払手数料で17万9,700円でございます。

4款1項基金積立金は、支出済額が前年度対比27.2%減で15万5,122円となり、介護給付費準備基金積立金でございます。

5款1項償還金及び還付加算金は、1目第1号被保険者保険料還付金が6万2,300円で、2目償還金が803万2,657円で、1項合計支出済額が前年度対比47.2%増で809万4,957円となりました。

394ページをお開きください。6款予備費の支出はありませんでした。

以上、平成27年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算の概要につきましてご説明を申し上げます。よろしくご審査の上、認定賜りますようお願い申し上げます。

○五十嵐智洋委員長 次に、認第1号の平成27年度長井市宅地開発事業特別会計歳入歳出決算について、多田茂之建設課長。

○多田茂之建設課長 平成27年度長井市宅地開発事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

68ページをお開き願います。歳入につきましては、収入済額合計は前年度対比1億2,681万3,501円、84.9%減の2,255万4,499円となり、調定額と同様となっております。

70ページをお開き願います。歳出につきましては、支出済額合計は宅地開発事業費、公債費の減額により、前年度対比1億2,690万6,008円、85.1%減の2,226万6,502円となりました。予算現額に対する執行率は94.1%となっております。

72ページをお開き願います。歳入歳出差し引

き残額は28万7,997円となり、翌年度に繰り越しております。

それでは、事項別明細書によりご説明申し上げます。

418ページをお開き願います。歳入につきましては、1款事業収入、1項1目宅地売払収入は1,025万5,000円でございます。

2款繰入金、1項1目宅地開発基金繰入金は950万円、2項1目一般会計繰入金は260万円でございます。

3款財産収入、1項1目利子及び配当金は4,009円でございます。

4款繰越金、1項1目繰越金は19万5,490円でございます。

420ページをお開き願います。歳出につきましてご説明申し上げます。

1款宅地開発事業費につきましては支出済額917万9,589円で、予算現額に対する執行率は86.7%でございます。うち1項1目宅地開発総務管理費は630万5,289円で、主なものとしましては、宅地分譲地買戻し金、手数料、修繕料などでございます。2項1目宅地造成費は287万4,300円で、宅地造成調査業務委託料、報償費等でございます。

2款1項公債費につきましては1,308万6,913円で、1目元金は長期債償還元金で1,303万2,000円、2目利子は長期債利子の5万4,913円でございます。

以上が平成27年度宅地開発事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願いいたします。

○五十嵐智洋委員長 ここで暫時休憩いたします。再開は午後1時といたします。

午前11時47分 休憩
午後 1時00分 再開

○五十嵐智洋委員長 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

それでは、各会計決算概要の説明を続行いたします。

認第2号 平成27年度長井市水道事業会計歳出決算認定について

○五十嵐智洋委員長 次に、認第2号 平成27年度長井市水道事業会計決算認定についての1件について、種村正一上下水道課長。

○種村正一上下水道課長 認第2号 平成27年度長井市水道事業会計認定についてご説明申し上げます。

決算書の445ページ、水道1ページをお開き願います。以降、水道ページで申し上げますので、よろしく願いいたします。

それでは、決算報告書からご説明申し上げます。予算額に対する決算額の対比を消費税込みで記載しております。

初めに、収益的収入及び支出につきましては、収入の第1款水道事業収益の決算額は7億1,606万4,600円で、予算額に対し1,747万4,600円の増となり、支出の第1款水道事業費用の決算額は6億4,742万7,506円で、予算額に対し2,726万2,494円の不用額となりました。

水道2ページをお開き願います。資本的収入及び支出につきましては、収入の第1款資本的収入の決算額は1億6,144万8,360円で、予算額に対し495万1,640円の減となりました。

水道3ページをごらんください。支出につきましては、第1款資本的支出の決算額は4億5,359万1,450円で、予算額に対し5,328万5,550円の不用額となりました。なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額2億9,214万3,090

円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収
支調整額1,430万2,128円、過年度分損益勘定留
保資金1億5,547万3,330円、当年度分損益勘定
留保資金1億2,236万7,632円をもって補填させ
ていただきました。

水道4ページをお開き願います。損益計算書
により経営状況についてご説明申し上げます。
なお、詳細につきましては、後ほど収益費用明
細書にてご説明申し上げます。消費税抜きで記
載しております。

営業収益につきましては6億1,783万9,776円
で、前年度対比498万6,968円、0.8%の増とな
りましたが、主に加入金及び受託工事収益の増
収によるもので、収益の根幹となる給水収益に
つきましては、40万5,502円、0.1%の減とな
ったところでございます。営業費用につきましては
5億1,370万4,867円で、前年度に比べ445万
6,464円、0.9%の増となり、営業利益は前年度
対比53万504円、0.5%増の1億413万4,909円と
なりました。

次に、水道5ページをごらんください。営業
外収益につきましては、長期前受金戻入益の減
収などにより、前年度対比622万3,793円、
1.4%減の4,814万8,971円となり、営業外費用
につきましては支払利息の減少などにより、前
年度対比603万523円、5.8%減の9,830万789円
となりました。その結果、経常利益は前年度対
比33万7,234円、0.6%増の5,398万3,091円と
なりました。特別利益は、過年度損益修正益98万
6,600円、特別損失は、平成26年度発生した会
計制度の改正に伴う手当の損失が皆減となった
ことから、過年度損益修正損の100万6,415円と
なりました。

以上の結果から、当年度純利益につきましては
前年度より573万6,103円、11.9%増の5,396
万3,276円となり、黒字決算で終了することが
できました。

また、当年度純利益と前年度繰越利益剰余金

及びその他未処分利益剰余金変動額を合わせた
当年度未処分利益剰余金は、前年度対比5,396
万3,276円増の3億4,433万2,282円となったと
ころでございます。

次に、水道6ページをお開き願います。剰余
金計算書についてご説明いたします。これは、
資本金及び剰余金の変動額による当年度末残高
計算表となっております。本年度は、資本金及
び資本剰余金については変動はなく、減債基金
への積立金もなかったことから、未処分利益剰
余金の変動により資本合計につきましては、前年
度対比5,396万3,276円増の21億5,270万3,801円
となったところでございます。

次に、水道7ページをごらんください。貸借
対照表により財産状況についてご説明いたしま
す。

資産の部につきましては、1の固定資産と、
次ページになりますが2の流動資産に分かれて
おります。固定資産では、償却資産などにより
既償却相当分が減額されたことなどから前年度
対比1億2,525万5,525円減の69億4,312万4,593
円となりました。

水道8ページをお開き願います。流動資産で
は、営業未収金が減少したことなどから、前年
度対比54万7,515円減の6億3,676万8,608円と
なり、資産合計は前年度対比1億2,580万3,040
円、1.6%減の75億7,989万3,201円となったと
ころでございます。

負債の部でございますが、固定負債についま
しては企業債残高が減少したことなどから、前年
度対比1億1,677万2,821円減の38億5,635万7,225
円、また流動負債につきましては、前年度対比
4,358万3,673円減の3億332万8,029円となりま
した。繰延収益につきましては、償却資産の取
得時に交付された補助金等が長期前受金として
負債の繰延収益に計上となりますが、前年度対
比1,940万9,822円減の12億6,750万4,146円とな
ったことなどから、負債合計は前年度対比1億

7,976万6,316円減の54億2,718万9,400円となりました。

資本の部におきましては、資本金は前年度と変わらずの7億6,398万8,238円、資本剰余金も前年度と同額の9億6,708万3,281円となりました。利益剰余金につきましては、当年度未処分利益剰余金が5,396万3,276円増加したことから、前年度と比較し14.7%増加し、4億2,163万2,282円となり、資本合計は前年度対比5,396万3,276円増の21億5,270万3,801円となりました。

なお、資産合計と負債資本合計額は同額の75億7,989万3,201円で一致いたしております。

続きまして、水道36ページをお開き願います。キャッシュフロー計算書につきましてご説明申し上げます。

計算書につきましては、一定期間における現金及び容易に換金可能な預金の増減をあらゆる財務諸表で、現金の獲得や支払い能力及び資本に関する財務情報を的確にあらゆることから、公益企業においても昨年度から作成が義務づけられております。

営業活動によるキャッシュフローでは、水道料金収入、浄水費用、業務及び総係費などの業務活動により2億8,421万2,996円を生み出しました。投資活動によるキャッシュフローでは、建設改良費国庫補助金や工事負担金収入などの投資活動で1億7,257万5,201円を使用いたしました。財務活動キャッシュフローでは、企業債の借り入れ、企業債の償還等で1億519万3,919円を使用いたしました。結果、期首の平成27年4月1日時点で資金残高6億1,232万9,649円から平成27年度中に644万3,876円増加し、平成27年度末の資金残高は6億1,877万3,525円となりました。

続きまして、水道37ページをお開き願います。収益費用明細書についてご説明申し上げます。

初めに、収益でございますが、第1款水道事業収益の総額は6億6,697万5,347円となり、前

年度対比25万225円、0.1%の減となりました。

1款1項営業収益は、前年度対比498万6,968円、0.8%増の6億1,783万9,776円となりました。内訳といたしまして、1目給水収益は営業収益の95.4%を占め、5億8,919万6,496円で、前年度対比40万5,502円減となりました。2目加入金は前年度に比べ296万5,000円増の1,162万5,000円で、新規加入164件、口径変更42件の内容となっております。3目受託工事収益は、草岡新町新田地区の給水管布設工事及び一般国道287号線道路改良工事に伴う配水管布設替え工事で253万2,020円となりました。4目その他営業収益は1,448万6,260円で、備考欄に記載の各種手数料225万6,190円、消火栓移設及び修繕負担金などの一般会計からの負担金278万5,624円、水道38ページをごらんください。受託金で、下水道使用料及び農業集落排水使用料の収納業務委託料など944万4,446円でございます。

2項営業外収益は、受取利息81万2,503円、ボトルドウォーター販売収益などの雑収益127万8,286円、当年度償却分の長期前受金戻入益4,605万8,182円を合わせて4,814万8,971円となったところでございます。

3項特別利益は過年度損益修正益の98万6,600円でございます。

次に、費用についてご説明いたします。

水道39ページをお開き願います。1款水道事業費用の総額は6億1,301万2,071円となり、前年度対比598万6,328円、1%の減となりました。1款1項営業費用は、前年度対比445万6,464円増の5億1,370万4,867円となりました。内訳につきましては、1目浄水及び配給水費は1億3,377万213円で、前年度対比60万8,265円、0.5%の増となりました。主な支出の内訳でございますが、1節から4節は職員2名分の人件費、14節委託料は上水道施設運転業務委託料4,092万円、量水器取替義務委託料453万4,986円、送配給水管台帳作成業務委託料940万円の

ほかに漏水調査委託料、水質検査業務委託料などでございます。水道40ページをごらんください。17節修繕費は1,964万1,674円で、配水施設の修理、量水器の更新修理、消火栓移設工事及び修繕費などでございます。20節動力費は3,119万1,133円で、各浄水場中継場などの動力費でございます。25節負担金は213万5,893円で、長井ダム維持管理負担金でございます。

2目受託工事費は260万6,000円で、草岡新町新田地区の給水管布設工事及び一般国道287号道路改良工事に伴う配水管布設工事費でございます。

水道41ページをごらんください。3目業務及び総係費は5,284万9,568円で、前年度対比70万8,518円、1.3%の減となりました。主な支出の内訳でございしますが、1節から4節まで職員5名分の人件費で、5節賃金は、未収金徴収員1名、定時補助職員1名分の賃金でございします。14節委託料は522万5,090円で、電算システム共同アウトソーシング委託料、みらいねっと運用支援業務委託料などでございます。15節手数料は230万5,565円で、収納取扱金融機関取扱手数料、コンビニ収納取扱手数料などでございます。

水道42ページをお開きください。4目減価償却費は3億1,347万2,627円で、営業費用の61%を占め、前年度対比456万9,081円、1.5%の増となっております。

5目資産減耗費は1,100万6,459円で、前年度対比245万5,164円、18.2%減で、配水管計装設備、量水器などの固定資産除却費でございします。

43ページをごらんください。次に、2項営業外費用は、企業債などの支払利息及び雑支出合わせて9,830万789円で、前年度対比603万523円、5.8%の減となりました。

3項特別損失は100万6,415円で、1目過年度損益修正損は、当期水道料金精算還付金などでございします。

水道44ページをお開きください。資本的収支

明細書についてご説明申し上げます。税抜きで記載してございます。

初めに収入でございしますが、第1款資本的収入の総額は1億6,144万8,360円で、前年度対比9,722万3,320円の増となりました。

内訳につきましては、1項企業債は、老朽管更新事業債3,480万円、配水施設整備事業債1億円で、前年度対比1億390万円の増となっております。

2項国庫補助金は、水道水源開発施設整備費国庫補助金2,509万1,000円でございします。

3項その他補償金は、平野学童クラブ整備における農業集落排水事業に伴う配水管布設替えの補償費155万7,360円でございします。

水道45ページをごらんください。支出でございしますが、第1款資本的支出の総額は4億3,921万7,480円で、前年度より952万866円、2.1%の減で、配水施設整備費における工事請負費の減少などによるものです。主な支出の内訳でございしますが、1項建設改良費といたしまして、1目事務費は職員2名分の人件費でございします。2目老朽管更新事業費は6,526万6,000円で、平山境町線配水管布設替工事を実施いたしましたものでございします。

水道46ページをお開きください。3目配水施設整備費につきましては6,200万3,102円で、草岡新町新田地域配水管布設工事のほか、県、市関連工事に伴う配水管布設工事などを実施したものでございします。

4目資産購入費につきましては、5,310万8,693円で、平山浄水場電気計装設備更新工事、森ポンプ場自家発電装置更新工事、量水器購入、公用車購入などの費用でございします。

次に、2項企業債償還金につきましては、2億3,999万3,919円で、前年度対比1,097万9,681円の増となりました。

以上、水道事業会計の決算の概要でございします。よろしくご審査の上、ご承認賜りますよう

お願い申し上げます。

認第3号 平成27年度西置賜地区 視聴覚教育協議会歳入歳出決算認定 について

○五十嵐智洋委員長 次に、認第3号 平成27年度西置賜地区視聴覚教育協議会歳入歳出決算認定についての1件について。

川村直人文化生涯学習課長。

○川村直人文化生涯学習課長 平成27年度の西置賜地区視聴覚教育協議会歳入歳出決算の概要についてご説明を申し上げます。

この件につきましては、同協議会が平成28年3月31日をもって廃止されたことによりまして、同協議会規則第23条で、協議会解散の場合の措置が定められておりますことから、事務継承しております長井市におきまして、同協議会の歳入歳出決算を長井市監査委員の意見書をいただきながら、議会の認定に付させていただきまして、議会の認定に付させていただきます。

初めに、収入についてでございますが、各市町からの負担金が合計で122万2,000円となっております。各市町の負担金額につきましては、平等割20%、人口割40%、基準財政需要額割40%の配分比率となっております。前年度繰越金につきましては、1万7,873円、預金利息80円で、全ての収入合計決算額123万9,953円となっております。

次に、支出についてでございますが、項目1の運営費につきましては、消耗品、切手代、保険料等の支出合計額が6万1,447円となっております。次に、項目2の事業費につきましては、郷土映像制作事業委託料として7万円を支出してございます。続きまして、項目3の業務委託料につきましては、教材機材の貸出業務委

託料68万4,000円を支出してございます。次に、項目4の負担金につきましては、全国視聴覚教育連盟負担金並びに地区コンクール負担金として合計4万円を支出してございます。

最後に、項目6の返還金につきましては、1市3町への返還金として、収入の部におきましてご説明をさせていただきました配分比率に基づきまして、全ての1市3町に返還をさせていただくとともに、余剰金の返金に係る振込手数料を支出してありまして、全ての支出合計決算額は123万9,953円と、収入合計決算額と同額となり、差し引きゼロ円となっております。

以上が平成27年度西置賜地区視聴覚教育協議会歳入歳出決算の概要でございます。ご審査の上、ご認定賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成27年度長井市各会計決算に関する総括質疑

○五十嵐智洋委員長 以上で概要の説明が終わりました。

これから質疑を行います。

ここで、総括質疑の発言通告がありますので、順次ご指名いたします。

宇津木正紀委員の総括質疑

○五十嵐智洋委員長 順位1番、議席番号1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 それでは、活力と生きがいのある長井市になることを願い、以下の3項目について質問いたします。質問が多岐にわたりますので、簡潔な答弁をお願いいたします。